

PC 300GL (Type 6288)

SA88-7019-00
(英文原典：09N1019)

ソフトウェアについて (Windows 95 モデル)



**PC 300GL
(Type 6288)**

SA88-7019-00
(英文原典 : 09N1019)

**ソフトウェアについて
(Windows 95 モデル)**



— お願い —

本書をお読みになり、本書がサポートする製品をご使用になる前に、必ず、B-1ページの付録B、『プログラムのご使用条件の表示』およびC-1ページの付録C、『特記事項および商標』をお読みください。

第 1 版 (1999 年 8 月)

本書において、日本では発表されていないIBM製品（機械およびプログラム）、プログラミング、およびサービスについて言及または説明する場合があります。しかし、このことは、IBMがこのようなIBM製品、プログラミング、およびサービスを、必ずしも日本で発表する意図であることを示すものではありません。

原 典： 09N1019
IBM Personal Computer
About Your Software
Windows 95, Applications,
and Support Software
発 行： 日本アイ・ピー・エム株式会社
担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 1999.8

©Copyright International Business Machines Corporation 1999. All rights reserved.

Translation: ©Copyright IBM Japan 1999

目次

本書について	v
第1章 添付ソフトウェアの概要	1-1
導入済みソフトウェア	1-2
Software Selections CD に収録のソフトウェア	1-4
第2章 初めての始動	2-1
本製品の初めての始動	2-2
始動する前に必要なこと	2-2
Windows 95 セットアップ・プログラムの実行	2-3
Access IBM の使用法	2-5
オンライン・ブックの表示方法	2-6
本体の電源切断	2-6
第3章 Software Selections CD の使用法	3-1
CD の機能	3-2
CD の始動	3-3
Software Selections ユーティリティーの使用法	3-4
第4章 トラブルシューティング	4-1
Norton AntiVirus for IBM	4-2
ConfigSafe	4-3
IBM Enhanced Diagnostics (診断プログラム)	4-6
第5章 Windows 95 の再導入	5-1
Windows 95 CD について	5-2
要件	5-2
再導入手順	5-4
CD-ROM セットアップ起動ディスクへの CD-ROM デバイス・ドライバの導入	5-5
第6章 その他のオペレーティング・システムの導入	6-1
付録A. Windows 95 再導入時の詳細手順	A-1

A. Windows 95 の導入	A-2
B. イーサネット・ドライバーの導入	A-8
C. Microsoft Internet Explorer の導入	A-11
D. USB サポート・ドライバーの導入	A-13
E. Intel 810 INF ファイルの更新	A-14
F. Intel セキュリティー・ドライバーの導入	A-16
G. ビデオ・ドライバーの導入	A-17
H. オーディオ・ドライバーの導入	A-18
I. ソフトウェア WAVE テーブルの導入	A-19
J. アプリケーションの導入	A-20
付録B. プログラムのご使用条件の表示	B-1
付録C. 特記事項および商標	C-1
特記事項	C-1
商標	C-2

本書について

本書は、ご使用のコンピューター資料を補足するものです。今後参照するときのために、本書は他のコンピューター資料と一緒に保管しておいてください。

本書には、本製品に付属のソフトウェアについての一般情報が記載されています。

本書は、以下のような構成になっています。

- 第1章、『添付ソフトウェアの概要』には、本製品に付属のソフトウェアについての一般情報が記載されています。
- 第2章、『初めての始動』には、本製品を初めて使用するときに関係する情報と、ソフトウェア機能のいくつかを理解するための情報が記載されています。
- 第3章、『Software Selections CD の使用法』では、*Software Selections* CD で提供されるソフトウェアの導入または再導入について説明しています。
- 第4章、『トラブルシューティング』には、トラブルを解決するためのヒントと情報が記載されています。
- 第5章、『Windows 95 の再導入』には、Windows 95 を再導入するためのおおまかな手順が記載されています。
- 第6章、『その他のオペレーティング・システムの導入』では、他のオペレーティング・システムおよびサポート・ソフトウェアの導入について説明しています。
- 付録A、『Windows 95 再導入時の詳細手順』には、Windows 95 を再導入するための詳細な手順が記載されています。
- 付録B、『プログラムのご使用条件の表示』には、IBM プログラムのご使用条件を表示する手順が記載されています。
- 付録C、『特記事項および商標』には、法律上の特記事項および商標の情報が記載されています。

第1章 添付ソフトウェアの概要

本製品には、Microsoft®Windows® 95¹、アプリケーション・プログラム、診断ツール、およびデバイス・ドライバーといったさまざまなソフトウェアが付属しています。これらのソフトウェアには、*初期導入済み* のものと、*Software Selections CD* に収録されているものがあります。これらのソフトウェア (Microsoft Windows 95 以外) は、「IBM プログラムのご使用条件 (保証適用外プログラム用)」のもとにライセンスを受けています。プログラムのご使用条件の表示については、本書の付録Bを参照してください。

この章の内容

導入済みソフトウェア	1-2
Software Selections CD に収録のソフトウェア	1-4

¹ Microsoft Certificate of Authenticity は、本製品に導入されている Windows 95 ソフトウェアが Microsoft Corporation から合法的にライセンスを受けていることを保証するものです。

導入済みソフトウェア

Windows 95 のほかに、導入済みソフトウェアには、以下のものが含まれています。

- **Access IBM。**ここから、IBMによって提供されるソフトウェアの導入、日付と時刻の設定、プリンターのセットアップ、オンライン・ドキュメントの表示、ライセンス情報と保証の表示を行うことができます。
- インターネット・エクスプローラは、Microsoft Web ブラウザーの更新版です。インターネット・エクスプローラは、イントラネットまたはワールド・ワイド・ウェブ (WWW) をナビゲートするのに使用できるツールです。

注: インターネット・エクスプローラを使用できるようにするには、イントラネットまたは WWW (あるいはその両方) に接続しておく必要があります。WWW への接続やインターネット・エクスプローラについて詳しくは、本製品に付属の Microsoft Windows マニュアルを参照してください。

- 出荷時導入済みフィーチャーのデバイス・ドライバー

導入済みソフトウェアについて詳しくは、2-1ページの第2章、『初めての始動』を参照してください。

重要:

1. 初期導入済みソフトウェアのバックアップ・ディスクは、本製品には付属していません。ただし、*Software Selections* CD には IBM 初期導入済みプログラムとデバイス・ドライバーのほとんどが入っています。*Software Selections* CD の使用方法については、3-1ページの第3章、『*Software Selections* CD の使用方法』を参照してください。

また、Microsoft Windows 95 オペレーティング・システム (Microsoft 提供のもので、IBM による修正はありません) は、バックアップのために単独の CD で提供されます。この CD には、コンピューターに導入済みの他のソフトウェアは入っていません。オペレーティング・システムを再導入する必要がある場合は、*Microsoft Windows 95 CD (および CD-ROM セットアップ起動ディスク)* を *Software Selections* CD とともに使用してください。(Windows 95 オペレーティング・システムや、

導入済みのソフトウェアのディスクは、IBM から入手することはできません。) Windows 95 の再導入の手順については、5-1ページの第5章、『Windows 95 の再導入』を参照してください。

2. 更新されたデバイス・ドライバーなどは、WWW (<http://www.ibm.co.jp/download.html>) などでも入手できます。詳細は「IBM サービスのご案内」を参照してください。

Software Selections CD に収録のソフトウェア

IBM *Software Selections* CD には、IBM 導入済みプログラムとデバイス・ドライバのほかにも、ソフトウェアが提供されています。必要に応じて、どのプログラムを導入するか決めてください。

以下は、IBM *Software Selections* CD に収録して提供されるソフトウェアの一部です。CD に入っているソフトウェアは、変更されることがあるので、以下のリストとは異なる場合があります。IBM *Software Selections* CD には、Windows NT Workstation 4.0、Windows 95、および Windows 95 用のソフトウェアが収録されています。IBM *Software Selections* CD について詳しくは、3-1ページの第3章、『Software Selections CD の使用法』を参照してください。

CoSession 手元の PC から別の場所にあるもう一台の PC を、モデムまたは LAN を経由して、自由に操作できるようにする「リモート・コントロール機能」を提供するソフトウェアです。

IBM Enhanced Diagnostics

IBM Enhanced Diagnostics を使用して、本製品のハードウェア（および一部のソフトウェア）コンポーネントをテストできます。IBM Enhanced Diagnostics プログラムの実行について詳しくは、4-6ページの『IBM Enhanced Diagnostics (診断プログラム)』を参照してください。IBM *Enhanced Diagnostics* デイスキットの作成と使用については、*ユーザズ・ガイド* を参照してください。

IBM Global Network ダイアラー

このソフトウェアを使用すれば、IBM Global Network を通じてインターネットに接続することができます。

Netscape Communicator

Netscape Communicator を使用して、イントラネットまたは WWW をナビゲートすることができます。Netscape Communicator は、電子メール、ニュース・

グループ、および WWW の最新の機能のサポートを含む、一連のインターネット機能を提供します。

Norton AntiVirus for IBM

Norton AntiVirus for IBM を使用して、本製品からウィルスの侵入を検出して除去することができます。詳しい説明と導入の手順については、4-2ページの『Norton AntiVirus for IBM』を参照してください。

すべてのオペレーティング・システムについてすべてのソフトウェアが使用できるわけではありません。ご使用のオペレーティング・システムにどのプログラムが使用できるか確認するには、*Software Selections* CD を参照してください。*Software Selections* CD は、Access IBM から始動することができます。詳細は、2-5ページの『Access IBM の使用法』を参照してください。

第2章 初めての始動

この章は、本製品を初めて使用するときに役立つ情報を記載しており、次のことを説明しています。

- コンピューターを初めて始動する前に必要なこと、および始動した後で起こること
- 以下の内容について
 - Access IBM からの情報へのアクセス、および操作方法
 - オンライン・ブックの表示方法
 - コンピューターを安全に終了する方法

この章の内容

本製品の初めての始動	2-2
始動する前に必要なこと	2-2
Windows 95 セットアップ・プログラムの実行	2-3
Access IBM の使用法	2-5
オンライン・ブックの表示方法	2-6
本体の電源切断	2-6

本製品の初めての始動

Windows 95 に初めてアクセスするときは、その前に Windows 95 セットアップを完了しておく必要があります。

始動する前に必要なこと

Windows 95 セットアップ手順を始める前に、次のものを用意する必要があります。

- 本製品に付属の Windows 95 のマニュアル (この章に記載されている情報よりも詳細な情報が必要な場合)
- Microsoft Certificate of Authenticity (Windows 95 のマニュアルの表紙に添付されています) のプロダクト ID 番号
- ネットワーク管理者からのネットワーク情報 (該当する場合)
- プリンターのモデルと、プリンターが使用するポート (プリンターが本製品に直接接続されている場合) についての情報

Windows 95 セットアップ・プログラムの実行

セットアップ・プログラムをまだ実行していない場合は、コンピューターを始動したときにセットアップ・プログラムが表示されます。プログラムは、必要に応じて、選択したり情報を入力するよう求めるプロンプトを出します。以下の注に示されている情報より詳細な情報が必要な場合は、Windows 95 のマニュアルを参照してください。

注:

1. セットアップの中で、Windows 95 のライセンス条項を承諾することを示す必要があります。また、Certificate of Authenticity のプロダクト ID 番号の入力を求めるプロンプトが出されたら、その番号を入力する必要があります。Certificate of Authenticity は、Windows 95 のマニュアルの表紙に添付されています。
2. セットアップが完了し、システムを再始動すると、Windows 95 のデスクトップが表示され、「Windows 95 へようこそ」ウィンドウが開きます。このウィンドウには、次のオプションがあります。
 - 簡単な Windows 95 のチュートリアルへのプリビュー
 - このリリースの Windows 95 での変更点の表示
 - オペレーティング・システムの使用についての情報の入手
 - Microsoft への Windows 95 ソフトウェアの登録 (モデムが導入済みである場合)
3. できるだけ早いうちに、以下のディスクットを作成してください。
 - a. *IBM Enhanced Diagnostic* ディスケット。この起動可能な診断プログラム・ディスクットは、コンピューターに関する問題を特定するのに役立ちます。IBM Enhanced Diagnostics プログラムの実行について詳しくは、4-1ページの第4章、『トラブルシューティング』を参照してください。IBM Enhanced Diagnostics のプログラム・ディスクットの作成については、*ユーザーズ・ガイド* を参照してください。
 - b. *CD-ROM セットアップ起動ディスク* のバックアップ・コピー。Windows 95 を再導入する必要がある場合は、バックアップ・コピーを使用します。条件によっては、導入処理中に CD-ROM セット

本製品の初めての始動

アップ起動ディスク のデータが破壊され、ディスクが使用できなくなることがあります。

Access IBM の使用法

Access IBM は、以下のことを行うための中心となる場所です。

- IBM *Software Selections* CD を始動して、1-4ページの『Software Selections CD に収録のソフトウェア』にリストされている追加ソフトウェアを導入する。
- 診断ディスクを作成する。
- *IBM プログラムのご使用条件* の表示
- 次のようなセットアップ作業の実行
 - 時刻と日付の設定
 - 使用環境を快適にするための情報の表示
- 次のようなオンライン・ブックの表示
 - *機能解説書*
- WWW で、IBM の製品と技術サポートについての情報が記載されている IBM Web ページをオープンする。このオプションを使用するためには、インターネットに接続しておく必要があります。

Access IBM は、デスクトップの一部として実行されるよう設計されています。このプログラムは、コンピューターが再始動した後であっても、ユーザーがそれをオフにするまで、デスクトップ上で実行し続けます。

Access IBM を使用するには、次のようにします。

1. Access IBM がオープンしていない場合は、Windows 「スタート」 ボタンをクリックします。次に **Access IBM** までスクロールして、クリックする。
2. Access IBM を使用して作業を実行したり、情報を入手したりするためには、一般的に以下のように行います。
 - a. メニューにリストされているカテゴリーの 1 つをクリックする。

はじめに
カスタマイズ
ヘルプ
ライセンス情報と保証の表示

各カテゴリーの下にカテゴリーに固有のメニューが表示されます。

- b. カテゴリー・メニューで、トピックをクリックする。該当する場合は、画面に表示される指示に従う。

オンライン・ブックの表示方法

オンライン・ブックを表示するためには、以下のことを行います。

1. 「Access IBM」の「ヘルプ」をクリックします。
2. 「ドキュメントの表示」をクリックします。
3. 表示したいオンライン・ブックを選び、ダブルクリックします。

注: オンライン・ブックの一部は、PDF ファイルで提供されています。これらの PDF ファイルを閲覧するためには、Adobe Acrobat Reader が必要です。Acrobat Reader の導入については、オンライン・ブックの中の「Adobe Acrobat の導入」を参照してください。

本体の電源切断

まだ保存していないデータを失ったり、プログラムを損傷したりすることのないように、本体の電源を切るときには、必ず、次の終了手順を実行してください。

コンピューターを終了するためには、次のように行います。

1. 作業中のデータをすべて保存します。
2. 開いているアプリケーションをすべて終了します。
3. Windows の「スタート」ボタンをクリックします。
4. 「Windows の終了」をクリックし、「電源を切れる状態にする」が選択されていることを確認し、「OK」をクリックします。

次にコンピューターの電源を入れたときに、Windows 95 は、最後にコンピューターの電源を切ったときに開いていたウィンドウを復元します。

第3章 Software Selections CD の使用法

Software Selections CD からデバイス・ドライバーやその他のソフトウェアを導入または再導入する場合には、この章を参照してください。

この章の内容

CD の機能	3-2
CD の始動	3-3
Software Selections ユーティリティーの使用法	3-4

CD の機能

Software Selections CD には、Windows 95、Windows 98、Windows NT Workstation 4.0 用のデバイス・ドライバー、およびその他のソフトウェアが含まれています。

注: すべてのオペレーティング・システムについてすべてのソフトウェアが提供されているわけではありません。ご使用のオペレーティング・システム用に提供されているプログラムを表示するには、*Software Selections* CD を参照してください。

重要

Software Selections CD には、オペレーティング・システムは含まれていません。この CD は、お使いのオペレーティング・システムが本製品にすでに導入されていないと、使用できません。

この CD を使用して、次のことができます。

- CD-ROM ドライブを装備しているモデルの場合、いくつかのソフトウェアをこの CD から直接導入すること。
- *Software Selections* CD のイメージを、内蔵ハード・ディスク上に、または接続しているネットワーク・ドライブ上に作成し、そのイメージからソフトウェアを導入すること。
- CD から導入できないソフトウェアのディスケットを作成し、そのソフトウェアをディスケットから導入すること。

Software Selections CD は、使いやすいグラフィカル・インターフェースと、ほとんどのソフトウェアに対して自動導入手順を備えています。また、CD の機能を説明しているヘルプ・システムも用意されています。

Software Selections CD に収録されているソフトウェアは、Access IBM 中の「IBM プログラムのご使用条件 (保証適用外プログラム用)」の条件でライセンスを受けています。(B-1ページの付録B、『プログラムのご使用条件の表示』を参照してください。)

CD の始動

Software Selections CD を使用するには、CD-ROM ドライブに *Software Selections* CD を挿入します。*Software Selections* CD のユーティリティーが自動的に始動します。

ご使用のコンピューターの CD-ROM の自動始動機能が使用不可に設定されている場合は:

1. *Software Selections* CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
2. Windows の「スタート」ボタンをクリックし、次に「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
3. 次のように入力します。

```
e:¥swselect.exe
```

(ここで、*e:* は、CD-ROM ドライブ名です。)

4. **Enter** を押します。Software Selections メニューが表示されます。
5. 希望のオプションを選択して、その後は画面の指示に従います。

あるいは、Access IBM が導入されていれば (初期導入済)、

1. *Software Selections* CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
2. Access IBM の中の「カスタマイズ」をクリックします。(Access IBM を開くには、2-5ページの『Access IBM の使用法』を参照してください。)
3. 表示されたメニューの中の「アプリケーションの導入」をクリックします。
4. Software Selections メニューが表示されます。

ソフトウェアの導入が終わったら、Windows の「スタート」メニューの「プログラム」からアクセスできます。ほとんどのソフトウェアには、サポート資料がオンライン・ヘルプに組み込まれています。また、オンライン資料が提供されているものもあります。

Software Selections ユーティリティの使用法

Software Selections ユーティリティは、*Software Selections* CD に含まれています。*Software Selections* CD の始動方法については、前節を参照してください。

Software Selections ユーティリティを使用するには:

1. Software Selections メニューの中で、導入するソフトウェアのチェック・ボックス (□) をクリックして、チェック・マーク (✓) を付けます。
2. ソフトウェアを選択したら、「インストール」をクリックします。導入されるソフトウェアのリストが表示されます。
3. 導入処理を開始するには、「OK」をクリックします。導入するソフトウェアを変更するには、「キャンセル」をクリックします。
4. 画面に表示される指示に従って、ソフトウェアの導入を完了してください。

注: *Software Selections* CD を始めて起動するときは、プログラムのインストールの画面に表示されるソフトウェアのうちのいくつかには、予めチェック・マーク (✓) が付けられていることに注意してください。そのまま「インストール」をクリックすると、それらのプログラムが導入されます。

第4章 トラブルシューティング

この章には、コンピューターの保守と回復についての情報が記載されています。本製品には、ユーザーの役に立つ、以下のものを含むいくつかのツールが提供されています。

- Norton AntiVirus for IBM
- ConfigSafe
- IBM Enhanced Diagnostics

この章の内容

Norton AntiVirus for IBM	4-2
ConfigSafe	4-3
IBM Enhanced Diagnostics (診断プログラム)	4-6

Norton AntiVirus for IBM

Norton AntiVirus for IBM プログラムは、コンピューターからウィルスの侵入を検出して除去する総合的なウィルス対策プログラムです。Norton AntiVirus for IBM プログラムを導入するには、次のように行います。

1. *Software Selections* CD を始動します。(始動方法については、3-1ページの第3章、『*Software Selections* CD の使用法』を参照してください。)
2. メニューが表示されたら、「**Norton AntiVirus for IBM**」のチェック・ボックス (□) をクリックして、チェック・マーク (✓) を付けます。
3. 「インストール」をクリックします。
4. 導入されるソフトウェア・タイトルが表示されたら、「OK」をクリックします。

プログラムの導入後、その設定値を変更する、あるいは確認する場合には、次のように行います。

1. Windows の「スタート」ボタンをクリックします。
2. 「プログラム」 「**Norton AntiVirus**」 「**Norton AntiVirus**」の順にクリックします。
3. 「Norton AntiVirus」ウィンドウで、「オプション」をクリックします。
4. 画面の上部にあるタブをクリックして、設定値に対して必要な変更を行います。変更内容を保存するためには、変更を行ったウィンドウごとに「**OK**」をクリックしてください。
5. 「Norton AntiVirus」のメイン・ウィンドウに戻り、「スケジューラ」をクリックします。設定を変更したい場合は、ウィンドウ内の変更したい設定値 (イベント) をダブルクリックして必要な変更を行って、「**OK**」をクリックしてください。
6. 新しいウィンドウが表示されます。なにが変更を行って、それを保存したい場合は、このウィンドウで「**OK**」をクリックしてください。

サポート文書はオンラインで提供されます。この文書にアクセスするには:

1. Windows の「スタート」ボタンをクリックします。
2. 「プログラム」 「Norton AntiVirus」 「Norton AntiVirus 情報」 「表示」の順に選択します。
3. 「リファレンス・ガイド」または「ヘルプ」を選択します。

注: 事前に、Adobe Acrobat Reader を導入する必要があります。

ConfigSafe

ConfigSafe プログラムは、総合的なシステム構成情報の記録および回復のツールです。このプログラムは、デスクトップが損傷したり、使用できなくなったり、あるいはスタートできなくなった場合にユーザー（またはサポート担当員）がさらに簡単にシステムを復元できるようにする機能を提供します。

ConfigSafe プログラムの特長には、次のものがあります。

- メニュー方式のグラフィカル・インターフェース。
- スナップショット機能。この機能は、システム構成情報を定期的なスケジュールで自動的に取り込んで保存します。この情報には、システム・ファイル、ハードウェア構成、ファイルのバージョン、ネットワーク接続、レジストリー情報が含まれます。
- 構成復元機能。この機能を使用すると、ご使用のシステムを数秒で直前の（または出荷時導入済み）構成に復元することができます。
- UNDO 機能。この機能を使用して、最後に復元された変更を取り消して、直前の構成に戻すことができます。
- SOS (DOS 復元ユーティリティ) 機能。この機能を使用して、Windows 95 のデスクトップにアクセスできない場合にシステムを復元することができます。
- 基本システム構成に対して（意識的あるいは無意識に）行った変更の自動追跡。
- レポート機能。この機能を使用して、システム構成変更に関するレポートを生成（さらに表示または印刷）することができます。レポートは、こ

こ 1 週間以内に発生したか、あるいは出荷時導入済み構成以降の変更のリストなど、重要な情報を提供することができます。

これらのレポートは、システムのトラブルシューティングを行う上で役立ったり、問題を解決する際に役立てるためにサポート担当が表示したり、fax で見ることができます。

- リモート・アシスタンスを得るための他のプログラム (たとえば、CoSession) と一緒に稼働する能力。
- 時間のかかる作業 (たとえば、構成情報のバックアップやデータの収集) の自動実行。
- ハードウェアまたはソフトウェア変更を行う前に現行のシステム設定値を取り込むための簡単な方法 (ポイント&クリック)。この方法により、変更が行われたときに問題が発生した場合に即時に回復手段が提供されます。
- 特定のニーズを満足させるカスタマイズ可能な機能。

ConfigSafe は、特に新しいアプリケーションまたはアダプターを導入した後で問題が発生した場合に役立つトラブルシューティング用のツールです。システム構成を変更する前に、ConfigSafe を使用して現行の、稼働中の構成のスナップショットをとってください。そうしておく、コンピューターが構成ファイル内の変更によって使用不能になった場合にその構成に簡単に戻ることができます。

ご自分では問題を解決できず、システム管理者の援助が必要な場合には、ConfigSafe を使用して、最新の構成変更についてのレポートを生成してください。システム管理者は、このレポートに記載された情報を使用して、問題の解決に役立てることができます。

ConfigSafe プログラムを導入するためには、次のように行います。

1. *Software Selections* CD を始動します。(始動方法については、3-1ページの第3章、『*Software Selections* CD の使用法』を参照してください。)
2. メニューが表示されたら、「**ConfigSafe**」のチェック・ボックス (□) をクリックして、チェック・マーク (√) を付けます。
3. 「インストール」をクリックします。

4. 導入されるソフトウェア・タイトルが表示されたら、「OK」をクリックします。

プログラムが導入された後でアクセスするためには、次のように行います。

1. 「スタート」ボタンをクリックします。
2. 「プログラム」 「**ConfigSafe**」 「**CONFIGSAFE**」の順に選択します。

サポート文書がオンライン・ヘルプ・システムに組み込まれています。オンライン・ヘルプにアクセスするには:

1. Windows の「スタート」ボタンをクリックします。
2. 「プログラム」 「**ConfigSafe**」 「**CONFIGSAFE**」 「ヘルプ」または「ユーザー・マニュアル」の順に選択します。

IBM Enhanced Diagnostics (診断プログラム)

IBM Enhanced Diagnostics は、オペレーティング・システムから独立して実行される診断プログラムです。さらに、*Software Selections* CD から、この診断プログラムのディスクットを作成することができます。診断プログラムおよびユーティリティー・プログラムを実行するためのユーザー・インターフェースは、WaterGate Software 社の PC Doctor によって提供されています。

このプログラムを使用して、本製品のハードウェア（および、一部のソフトウェア）構成要素をテストすることができます。このテスト方法は通常、他のテスト方法を利用できない場合、またはハードウェアに関連していると思われる問題を特定できなかった場合に使用します。

IBM *Software Selections* CD から IBM *Enhanced Diagnostics* ディスクットを作成する手順については、*ユーザーズ・ガイド* を参照してください。

第5章 Windows 95 の再導入

問題が発生して Windows 95 の再導入が必要になった場合は、本章の情報を
使用してください。

この章の内容

Windows 95 CD について	5-2
要件	5-2
再導入手順	5-4
CD-ROM セットアップ起動ディスクへの CD-ROM デバイス・ドラ イバーの導入	5-5

Windows 95 CD について

重要

Microsoft Windows 95 CD-ROM に入っているソフトウェア ("回復プログラム") は、出荷時に Windows 95 が初期導入されていた IBM コンピューターに、Windows 95 を再導入するためにのみ使用するものです。

ハード・ディスクの障害などによって Windows 95 のファイルが損傷した場合には、コンピューターに付属の Microsoft Windows 95 CD と *CD-ROM セットアップ起動ディスク* を使用して、Windows 95 を再導入できます。

注: まだ作成していなければ、*CD-ROM セットアップ起動ディスク* のバックアップ・コピーを作成しオリジナル・ディスクットの損傷を防ぐためにバックアップ・コピーを使用してください。条件によっては、導入処理中に *CD-ROM セットアップ起動ディスク* のデータが破壊され、ディスクットが使用できなくなることがあります。

Microsoft Windows 95 CD から Windows 95 を再導入した場合、その内容はコンピューターの出荷時に導入済みの Windows 95 とは多少異なります。

Windows 95 を再導入したら、*Software Selections CD* を使用して、必要に応じてアプリケーションとデバイス・ドライバーを導入してください。詳細については、第3章、『*Software Selections CD の使用法*』を参照してください。

要件

Windows 95 CD を使用してハード・ディスクに Windows 95 を再導入するには、以下のものがが必要です。

- CD-ROM ドライブ
- 始動ドライブになる、コンピューターのディスクット・ドライブ A
- Microsoft Windows 95 CD

- *CD-ROM セットアップ起動ディスク* のバックアップ・コピー (注の 3b (2-3ページ) を参照)
- Windows 95 起動ディスク (ハードディスクの区画の設定や、ハードディスクに保存したいデータがある時のみ)

注: Windows 95 起動ディスクは、Windows 95 のデスクトップから「マイコンピュータ」、「アプリケーションの追加と削除」、「起動ディスク」タブ、「ディスクの作成」の順に選択して、作成します。

また、Windows 95 の導入の開始時に、ご使用の CD-ROM ドライブ用の正しいデバイス・ドライバーが *CD-ROM セットアップ起動ディスク* に組込まれていることが必要です。

標準で IBM 内蔵 IDE CD-ROM ドライブ用のドライバーが組込まれていますが、これ以外の CD-ROM ドライブを使用する場合は、ドライバーを別に組込んだディスクを作成してください。作成方法については、5-5ページの『CD-ROM セットアップ起動ディスクへの CD-ROM デバイス・ドライバーの導入』を参照してください。

再導入手順

Windows 95 を再導入するには、以下の手順を実行します。より詳細な手順が必要な場合は、付録A、『Windows 95 再導入時の詳細手順』を参照してください。

1. 保存したいデータがハードディスクにある場合は「Windows 95 起動ディスク」を A ドライブに入れて、Windows 95 を起動後、ディスケット等にデータを保存してください。また、ハードディスクの区画設定を行いたい場合は、「Windows 95 起動ディスク」で起動後、FDISK コマンドを使用して行ってください。区画の設定を行った後は、各区画を FORMAT コマンドでフォーマットしてください。
2. A ドライブにセットアップ起動ディスクを挿入します。
3. コンピューターの電源を入れるか、コンピューターを再起動します。導入プログラムが自動的に始動します。
4. コンピューターのメッセージに従って作業を進めてください。
5. 作業の途中で「ディスク 'Setup Boot Disk' が必要です。」というメッセージが出てきたら、「セットアップ起動ディスク」を A ドライブに入れて「OK」のボタンを押してください。その後「Setup Boot Disk 上のファイル IBMIDECD.SYS が見つかりませんでした。」というメッセージが現れたら、ファイルのコピー元を「A:¥」にして「OK」ボタンを押してください。
6. コンピューターのメッセージに従って作業を進めてください。
7. 「Windows 95 へようこそ」のパネルが出てきたら Windows 95 の導入は終了です。
8. イーサネット・ドライバーを導入します（標準装備の場合）。*Software Selections* CD からドライバー・ディスケットを作成し、ディスケットから導入します。
9. *Software Selections* CD のユーティリティーを動作させるために、Microsoft Internet Explorer 4.0（または、それ以降のバージョン）を導入します。

注： Internet Explorer 4.0 またはそれ以降のバージョンのバックアップ・メディアは、付属していませんので、別途ご用意ください。

Microsoft Internet Explorer は、マイクロソフト社の Web サイトからダウンロードすることもできますし、PC 専門誌の付録 CD に収録されていることもあります。

10. USB サポート・ドライバーを Microsoft Windows 95 CD-ROM から導入します。
11. *Software Selections* CD のユーティリティーを起動させ、各ドライバーを次の順に導入します。
 - Intel 810 INF Drivers
 - Intel セキュリティー・ドライバー
 - Intel 810 ビデオ・ドライバー
 - オーディオ・ドライバー
 - ソフトウェア WAVE テーブル

CD-ROM セットアップ起動ディスクへの CD-ROM デバイス・ドライバーの導入

IBM 内蔵 IDE CD-ROM 以外の CD-ROM ドライブを使用する場合のみ、この作業が必要になります。

以下の手順では、CD-ROM デバイス・ドライバー（ご使用になる CD-ROM ドライブ用のデバイス・ドライバー）を *CD-ROM セットアップ起動ディスク* に追加する方法を説明します。ご使用の CD-ROM ドライブに複数のデバイス・ドライバーが必要な場合は、この手順を使用する必要があります。

CD-ROM デバイス・ドライバーを *CD-ROM セットアップ起動ディスク* に追加するには、以下の手順を実行します。

1. *CD-ROM セットアップ起動ディスク* のルート・ディレクトリーに、CD-ROM デバイス・ドライバー（1 つまたは複数）をコピーします。
2. *CD-ROM セットアップ起動ディスク* の CONFIG.SYS ファイルを編集して、9 行目にある次のような行を見付けます。

```
DEVICE=IBMIDECD.SYS /D:IBMCD100 /L:JP
```

9 行目の *IBMIDECD.SYS* を、使用する CD-ROM デバイス・ドライバーの名前に置き換えます。

その行の他の部分を変更しないでください。ご使用の CD-ROM ドライブに複数のデバイス・ドライバーが必要な場合は、それぞれの追加デバイス・ドライバーについて 1 行ずつ追加する必要があります。

3. *CD-ROM セットアップ起動ディスク* は A ドライブに入れたままにして、コンピューターを再起動します。Windows 95 セットアップ・プログラムが自動的に始動します。

第6章 その他のオペレーティング・システムの導入

Windows NT Workstation 4.0、Microsoft Windows 98 または Windows 95 の導入または再導入を行う場合は、ソフトウェアまたはデバイス・ドライバが必要になることがあります。ハードウェア特有のソフトウェアは、*Software Selections* CD に収められています。(*Software Selections* CD に収録されているデバイス・ドライバにアップデートがあった場合には、WWW の <http://www.ibm.co.jp/download.html> から入手可能となります。)

オペレーティング・システムを導入するにあたっては、前もって、最新のフィックス・パックや CSD など入手しておいてください。オペレーティング・システムの製造元に問い合わせるか、または、可能であれば、製造元の Web サイトを調べて、それら入手してください。

オペレーティング・システムを導入するには、オペレーティング・システムおよびフィックス・パックや CSD (ある場合) に付属の資料を参照してください。次に、3-1ページの第3章、『*Software Selections* CD の使用法』を参照して、デバイス・ドライバ等を導入してください。

注: すべてのオペレーティング・システムについてすべてのソフトウェアが提供されているわけではありません。ご使用のオペレーティング・システム用に提供されているプログラムを表示するには、*Software Selections* CD を始動すると表示されるリストを参照してください。

付録A. Windows 95 再導入時の詳細手順

この付録は、Windows 95 を再導入する場合の手順をステップごとに細分化して詳細に記載しています。なお、ネットワークは標準装備（モデルによる）のイーサネットを使用し、ハードディスクはフォーマット済の場合について記載しています。

この章の内容

A. Windows 95 の導入	A-2
B. イーサネット・ドライバーの導入	A-8
C. Microsoft Internet Explorer の導入	A-11
D. USB サポート・ドライバーの導入	A-13
E. Intel 810 INF ファイルの更新	A-14
F. Intel セキュリティー・ドライバーの導入	A-16
G. ビデオ・ドライバーの導入	A-17
H. オーディオ・ドライバーの導入	A-18
I. ソフトウェア WAVE テーブルの導入	A-19
J. アプリケーションの導入	A-20

A. Windows 95 の導入

必要なもの：

- Microsoft Windows 95 CD-ROM セットアップ起動ディスク
(以下、セットアップ起動ディスクと呼びます)
- Microsoft Windows 95 CD-ROM
- 未使用ディスク 1 枚 (セットアップ起動ディスクのバックアップ用)
- 未使用ディスク 1 枚 (起動ディスク用)

重要:

既にハードディスクに必要なデータが入っている場合は、まず、そのファイルをディスク等に保存します。

注: CD-ROM ドライブに CD-ROM をセットした直後は、ドライブがメディアを認識するまで数秒間待ってから、次の操作を行ってください。

ステップ	操作内容
A01.	あらかじめ、同梱されている "セットアップ 起動ディスク" のバックアップを取ります。方法としては "MS-DOS プロンプト" より Diskcopy を使って行います。
A02.	セットアップ 起動ディスクのバックアップ・ディスクを A ドライブに入れ、Power ON します。
A03.	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"><p>Windows 95のインストールを行います。 C ドライブの中身をフォーマットする必要がありますので、 (中略) 続けるにはどれかキーを押してください...</p></div>

と表示されます。メッセージに従い、いずれかのキーを押します。

ステップ	操作内容
------	------

A04.

同梱されてきた Windows95 の CD-ROM を CD-ROM ドライブに
セットしてください。
続けるにはどれかキーを押してください...

と表示されます。メッセージに従い、Windows 95 CD-ROM を
CD-ROM ドライブにセットし、いずれかのキーを押します。

A05.

ドライブ C をフォーマットします。
(中略)
続けるにはどれかキーを押してください...

と表示されます。メッセージに従い、いずれかのキーを押します。

A06.

注意！ ドライブ C: の
ハードディスクのデータはすべてなくなります。
フォーマットしますか (Y/N)?

と表示されます。メッセージに従い、「Y」を入力し、**Enter** を押し
ます。

A07.

フォーマットが完了すると、以下のメッセージが表示されます。

ボリュームラベルを入力してください。
半角で 11 文字、全角で 5 文字以内。
必要なければ、Enter キーを押してください。

ボリュームラベルを入力し、**Enter** を押します。

A08.

セットアップへようこそ。
セットアップ プログラムは、コンピュータで Windows 95 を
実行するための準備を行います。
(略)
セットアップを続けるには、Enter キーを押してください。

と表示されます。メッセージに従い、**Enter** を押します。

ステップ 操作内容

A09.

Windows をインストールする準備をしています。
準備をしています。しばらくお待ちください...
システムのチェックを行います。
Enter キーを押すと続行します。Escキーを押すと、
セットアップを中止します。

と表示されます。メッセージに従い、**Enter** を押します。

A10. Microsoft Scandisk の画面が表示され、Scandisk が実行されますので終了したら、**X** キーを押します。

A11. ソフトウェア使用許諾契約の画面が表示されますので、**Page Down** キーを使用して読み、同意する場合は、「はい」をクリックします。

A12. Windows 95 セットアップ ウィザードが表示されます。
「次へ」をクリックします。

A13. "ディレクトリの選択" の画面が表示されます。
ここでは、"C:\WINDOWS" を選択し、「次へ」をクリックします。

A14. 次に "セットアップ方法" を選択します。今回は "標準" を選び、「次へ」をクリックします。

A15. 次に "Certificate of Authenticity" を入力します。これは、同梱されているマニュアル「ファーストステップガイド Microsoft Windows 95」の表紙に書かれています。入力後、「次へ」をクリックします。

A16. "名前" と "組織名" を入力し、「次へ」をクリックします。

A17. "コンピュータの調査" の画面が表示されます。
本製品では、モデルによりイーサネットやオーディオ機構が搭載されている場合がありますが、専用のドライバーは後述の手順で導入するため、ここでは、ハードウェアの調査をしない方法を選択します。従って、チェック・ボックス (□) には、何もチェックせず、「次へ」をクリックします。

A18. "Windows ファイルの選択" の画面が表示されます。
ここでは、"標準的なオプションをインストールする (推奨)" を選択し、「次へ」をクリックします。

ステップ	操作内容
A19.	<p>"起動ディスク" の画面が表示されます。</p> <p>ここでは、"はい (通常はこちらを選んでください)" を選択し、「次へ」をクリックします。</p>
A20.	<p>"コピー開始" となります。「次へ」をクリックします。</p>
A21.	<p>"ディスクの挿入" となります。ディスクのラベルに "Windows 95 起動ディスク" と記入し、A ドライブから "セットアップ起動ディスク" のバックアップ・ディスケットを取り出し、代わりに未使用のディスケットを挿入します。そして、「OK」をクリックします。</p>
A22.	<p>"Windows 95 起動ディスク" が完成したら、ディスケットを A ドライブから取り出し、「OK」をクリックします。</p>
A23.	<p>しばらくすると、</p> <div data-bbox="260 702 939 827" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>ディスクの挿入 ディスク "Setup Boot Disk" が必要です。 このディスクはコンピュータの製造元から配布されています。 [OK] を押すと続行します。</p> </div> <p>と表示されます。メッセージに従い、セットアップ起動ディスクのバックアップ・ディスケットを A ドライブに挿入し、「OK」をクリックします。</p>
A24.	<div data-bbox="260 979 939 1121" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>Setup Boot Disk 上のファイル IBMIDECD.SYS が 見つかりませんでした。</p> <p>Setup Boot Disk を選択したドライブに入れて、 [OK] を押してください。</p> </div> <p>と表示されます。この場合は、ファイルのコピー元を「A:¥」にして「OK」をクリックします。</p>
A25.	<p>"コピー完了" の画面が表示されます。</p> <p>画面に従い、A ドライブから「セットアップ起動ディスクのバックアップ・ディスケット」を、また CD-ROM ドライブから Windows 95 CD-ROM を取り出し、「完了」をクリックします。</p>
A26.	<p>システムが再起動され、「日付と時刻のプロパティ」の画面が表示されます。日付、時刻、タイムゾーンが正しくない場合は正しい値を入力し、「閉じる」をクリックします。</p>

ステップ	操作内容
A27.	次に "プリンタウィザード" が表示されます。 プリンターを接続している場合は、「次へ」をクリックし、指示に従ってプリンターの設定を進めます。接続しない場合は、「キャンセル」をクリックします。
A28.	プリンターウィザードにてプリンターの設定が完了すると、 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;">システムの設定を完了しました。 新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動してください。[OK]を押すと、再起動します。</div> と表示されるので、「OK」をクリックします。
A29.	"Windows 95 へようこそ" のウィンドウが表示されたら、Windows 95 本体の導入は完了です。 「閉じる」をクリックします。
A30.	次にキーボードのプロパティを確認します。
A31.	「スタート」->「設定」とマウスで選択し、「コントロール・パネル」をクリックします。
A32.	「キーボード」のアイコンをダブルクリックします。
A33.	"情報"のタブをクリックします。
A34.	キーボードの種類に"101 英語キーボード"が表示されている場合、「変更」をクリックします。
A35.	"デバイスの選択"の画面が表示されます。「すべてのデバイスを表示」を選択します。
A36.	モデルの中から、「106 日本語 (A01) キーボード (Ctrl+英数)」を選択し、「OK」をクリックします。
A37.	画面に "ディスクの挿入" のウィンドウが表示されるので、CD-ROM ドライブに Windows 95 CD-ROM を挿入し、「OK」をクリックします。
A38.	キーボードの変更が完了すると、「閉じる」をクリックします。
A39.	「再起動しますか?」と表示されるので、「はい」をクリックし、再起動します。

ステップ	操作内容
A40.	再起動後、「Windows 95 へようこそ」のウィンドウが表示されるので、左下の "Windows 95 を次に起動するときも、このダイアログを表示する" のチェックをはずした後、このウィンドウを閉じます。また、引き続き、コントロール・パネルもクローズします。

B. イーサネット・ドライバーの導入

必要なもの：

- Software Selections CD
- 未使用のディスケット 1 枚 (イーサネット・ドライバー用)

ステップ	操作内容
B01.	Software Selections CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
B02.	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"><p>Software Selections CD を使用するには Microsoft Internet Explorer バージョン 4.0 またはそれ以降のバージョンがインストール されている必要があります。</p></div> <p>というメッセージが表示されますので、「OK」をクリックします。</p>
B03.	「スタート」->「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
B04.	次ように入力し、「OK」をクリックして、イーサネット・ドライバ ー・ディスケットを作成します。 <code>e:¥data¥win95¥jp¥etherjet¥disk_01</code> (ただし、e: は CD-ROM のドライブ名です。)
B05.	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"><p>ブランク・ディスケットを A: ドライブに 入れ Enter キーを押してください。</p></div> <p>というメッセージが表示されたら、未使用のディスケットを挿入し、 Enter キーを押します。</p>
B06.	しばらくして、ディスケットへの書き込みが終了したら、ディスケット を取り出します。
B07.	「スタート」->「設定」->「コントロール・パネル」の順にクリックし ます。
B08.	「システム」アイコンをダブル・クリックします。
B09.	「システムのプロパティ」ウィンドウの「デバイス・マネージャ」タブ をクリックします。

ステップ	操作内容
B10.	「その他のデバイス」の左にある "+" をクリックします。
B11.	表示された「PCI Ethernet Controller」を選択し、「削除」ボタンをクリックします。
B12.	「デバイス削除の確認」が表示されたら、「OK」をクリックします。
B13.	「スタート」->「Windows の終了」->「コンピュータを再起動する」->「はい」の順にクリックして、システムを再起動します。
B14.	「デバイス・ドライバー・ウィザード」が開きますので、先ほど作成したイーサネット・ドライバー・ディスクを A ドライブに挿入し、「次へ」をクリックします。
B15.	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p data-bbox="280 654 684 674">このデバイス用の更新されたドライバが見つかりました。</p> <p data-bbox="280 690 615 710">IBM 10/100 EtherJet PCI Management Adapter</p> <p data-bbox="280 723 708 743">このドライバを使用する場合は、[完了] を押してください。</p> </div> <p data-bbox="260 802 681 829">と表示されたら、「OK」をクリックします。</p>
B16.	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p data-bbox="280 890 764 926">'Configuration and Drivers Diskette' ラベルの付いたディスクを挿入して [OK] を押してください。</p> </div> <p data-bbox="260 987 681 1014">と表示されたら、「OK」をクリックします。</p>
B17.	<p data-bbox="260 1039 936 1091">ファイルが見つからない、というメッセージが表示されたら、ファイルのコピー元に次のように入力して「OK」をクリックします。</p> <p data-bbox="319 1111 356 1138">a:¥</p>
B18.	<p data-bbox="260 1158 936 1210">コンピューター名とワークグループ名が必要というメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。</p>
B19.	<p data-bbox="260 1235 936 1288">コンピューター名、ワークグループ名等を設定し、「閉じる」をクリックします。</p>
B20.	<p data-bbox="260 1313 936 1399">Windows 95 CD-ROM を要求するメッセージが表示されたら、Windows 95 CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入し、「OK」をクリックします。</p>

B. イーサネット・ドライバーの導入

ステップ	操作内容
B21.	<p>ファイルが見つからないというメッセージが表示されたら、ファイルのコピー元に次のように入力して「OK」をクリックします。</p> <p>e:¥win95</p> <p>(ただし、e: は CD-ROM のドライブ名です。)</p>
B22.	<div data-bbox="225 439 906 517" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; text-align: center;">今すぐ再起動しますか？</div> <p>と表示されたら、A ドライブからディスクを取り出してから、「はい」をクリックし、再起動します。</p>

C. Microsoft Internet Explorer の導入

必要なもの：

Microsoft Internet Explorer 4.0 (または、それ以降のバージョン)

本製品には、IE4 またはそれ以降のバージョンのバックアップ・メディアは付属していませんので、別途ご用意ください。Microsoft Internet Explorer は、マイクロソフト社の Web サイトからダウンロードすることもできますし、PC 専門誌の付録 CD に収録されていることもあります。

ここでは、Internet Explorer 4.01 SP1 を CD-ROM から導入する手順を説明します。

ステップ	操作内容
C01.	Windows の「スタート」->「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
C02.	CD-ROM ドライブに、IE4 が収録されている CD を挿入します。
C03.	e:¥msie401¥ie4setup と入力し、「OK」をクリックします。 (ただし、e: は CD-ROM のドライブ名、¥msie401 は IE4 のフォルダ名、ie4setup は IE4 のセットアップ・プログラム名です。)
C04.	「セットアップの開始」画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。
C05.	「使用許諾契約」が表示されたら、 Page Down キーを使用して読み、同意する場合は、「同意する」を選択し、「次へ」をクリックします。
C06.	「インストール・オプション」が表示されます。ここでは、「標準インストール」を選択し、「次へ」をクリックします。
C07.	「デスクトップのアップデート」が表示されます。Windows デスクトップのアップデート・コンポーネントを導入するので、「はい」を選択し、「次へ」をクリックします。
C08.	「Active Channel の選択」が表示されるので、「日本」を選択し、「次へ」をクリックします。

C. Microsoft Internet Explorer の導入

ステップ	操作内容
C09.	「インストール先フォルダ」が表示されます。導入先フォルダ名を確認し、「次へ」をクリックします。
C10.	導入が開始されます。しばらくして、 <div data-bbox="225 371 905 447" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">コンポーネントのインストールは完了しました</div> というメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。
C11.	<div data-bbox="225 538 905 614" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">再起動する必要があります</div> というメッセージが表示されたら、CD を取り出して、「OK」をクリックしてシステムを再起動します。
C12.	再起動後、「ようこそ - Microsoft Internet Explorer」ダイアログが表示されたら、閉じます。

D. USB サポート・ドライバの導入

必要なもの： Microsoft Windows 95 CD-ROM

ステップ	操作内容
D01.	Mircosoft Windows 95 CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。
D02.	「スタート」-> 「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
D03.	名前に e:\other¥usb¥usbsupp と入力し、「OK」をクリックします。 (ただし、e: は CD-ROM のドライブ名です。)
D04.	"Microsoft USB Supplement (QFE)" のウィンドウが表示されます。 「はい」をクリックします。
D05.	ソフトウェア使用許諾契約の画面が表示されるので、 Page Down キーを使用して読み、同意する場合は、「はい」をクリックします。
D06.	USB サポート・ドライバの導入が完了後、CD-ROM ドライブから、Windows 95 CD-ROM を取り出し、「OK」をクリックします。システムが再起動されます。

E. Intel 810 INF ファイルの更新

必要なもの： Software Selections CD

ステップ	操作内容
E01.	再起動後、「ようこそ - Microsoft Internet Explorer」ダイアログが表示されたら、「次にログインするときも、このダイアログを表示する」のチェック・マーク (✓) をはずしてから、このダイアログを閉じます。
E02.	Software Selections CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
E03.	CD が認識されると、Software Selections コーティリティーが起動します。画面左側のリストの中から、「拡張機能」->「デバイス・ドライバのインストール」の順にクリックします。
E04.	デバイス・ドライバー一覧が表示されます。ここで、「Intel 810/820 INF Drivers...」が表示されない場合は、ウィンドウ下端の水平スクロール・バーを使って、デバイス・ドライバー一覧の右端にあるスクロール・バーが表示されるまで、表示画面を右側へ移動します。
E05.	表示されたスクロール・バーを使って、「Intel 810/820 INF Drivers...」が表示されるまで移動し、「Intel 810/820 INF Drivers...」の左側にあるチェック・ボックス (☐) にチェック・マーク (✓) を付け、画面右下にある「インストール」ボタンをクリックします。
E06.	選択したドライバー名が表示されるので、「OK」をクリックします。
E07.	注意事項が表示されたら、内容を確認し、メモ帳を閉じます。
E08.	導入が終了して、Software Selections CD のメニュー画面が表示されたら、「スタート」->「Windows の終了」->「再起動する」->「OK」の順にクリックして、システムを再起動します。
E09.	再起動の途中で、次のウィンドウが表示されます。

このウィザードで、次のインストールができます。
Intel 82802 Firmware Hub Device
(省略)

そのドライバーを導入するために、「次へ」をクリックします。

ステップ	操作内容
------	------

E10.

このデバイス用の更新されたドライバが見つかりました。...

と表示されますので、「完了」をクリックします。

E11.

今すぐ再起動しますか？

と表示されたら、CD を取り出して、「はい」をクリックします。

F. Intel セキュリティー・ドライバーの導入

必要なもの： Software Selections CD

ステップ	操作内容
F01.	Software Selections CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
F02.	CD が認識されると、Software Selections ユーティリティーが起動します。画面左側のリストの中から、「拡張機能」->「デバイス・ドライバーのインストール」の順にクリックします。
F03.	デバイス・ドライバー一覧が表示されます。ここで、「Intel Security Driver」が表示されない場合は、ウィンドウ下端の水平スクロール・バーを使って、デバイス・ドライバー一覧の右端にあるスクロール・バーが表示されるまで、表示画面を右側へ移動します。
F04.	表示されたスクロール・バーを使って「Intel Security Driver」が表示されるまで移動し、「Intel Security Driver」の左側にあるチェック・ボックス (□) にチェック・マーク (√) を付け、画面右下にある「インストール」ボタンをクリックします。
F05.	選択したドライバー名が表示されるので、「OK」をクリックします。
F06.	注意事項が表示されたら、内容を確認し、メモ帳を閉じます。
F07.	導入が終了して、Software Selections CD のメニュー画面が表示されたら、CD を取り出してから、「スタート」->「Windows の終了」->「再起動する」->「OK」の順にクリックし、システムを再起動します。

G. ビデオ・ドライバーの導入

必要なもの： Software Selections CD

ステップ	操作内容
G01.	Software Selections CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
G02.	CD が認識されると、Software Selections ユーティリティが起動します。画面左側のリストの中から、「拡張機能」->「デバイス・ドライバーのインストール」の順にクリックします。
G03.	「Intel 810 Video」の左側にあるチェック・ボックス (☐) にチェック・マーク (√) を付け、「インストール」ボタンをクリックします。
G04.	選択したドライバー名が表示されるので、「OK」をクリックします。
G05.	注意事項が表示されたら、内容を確認し、メモ帳を閉じます。
G06.	導入が終了して、Software Selections CD のメニュー画面が表示されたら、CD を取り出してから、「スタート」->「Windows の終了」->「再起動する」->「OK」の順にクリックし、システムを再起動します。
G07.	再起動後、「コントロール・パネル」->「画面」->「ディスプレイの詳細」タブの順に選択して、ご希望の色数、画面解像度に設定してください。 ディスプレイの種類が指定されていないというメッセージが表示された場合は、「はい」をクリックし、ディスプレイを指定します。

H. オーディオ・ドライバーの導入

必要なもの： Software Selections CD

ステップ	操作内容
H01.	Software Selections CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
H02.	Software Selections コーティリティーが起動するので、「拡張機能」->「デバイス・ドライバーのインストール」の順にクリックします。
H03.	「Analog Devices Audio Driver」の左側のチェック・ボックス (□) にチェック・マーク (✓) を付け、「インストール」ボタンをクリックします。
H04.	選択したドライバー名が表示されるので、「OK」をクリックします。
H05.	注意事項が表示されたら、内容を確認し、メモ帳を閉じます。
H06.	導入が終了して、Software Selections CD のメニュー画面が表示されたら、CD を取り出してから、「スタート」->「Windows の終了」->「再起動する」->「OK」をクリックします。
H07.	再起動後、Windows 95 CD-ROM を要求するメッセージが表示されたら、Windows 95 CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入し、「OK」をクリックします。

I. ソフトウェア WAVE テーブルの導入

必要なもの： Software Selections CD

ステップ	操作内容
I01.	Software Selections CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
I02.	CD が認識されると、Software Selections ユーティリティが起動します。画面左側のリストの中から、「拡張機能」->「デバイス・ドライバのインストール」の順にクリックします。
I03.	「EUSynth SW Wavetable for Analog Audio Driver」の左側のチェック・ボックス (□) にチェック・マーク (√) を付け、「インストール」ボタンをクリックします。
I04.	選択したドライバー名が表示されるので、「OK」をクリックします。
I05.	注意事項が表示されたら、内容を確認し、メモ帳を閉じます。
I06.	「Welcome」のウィンドウが表示されたら、「Next」をクリックします。
I07.	「Restarting Windows」のウィンドウが表示されたら、「Yes, I want to restart my computer now.」を選択し、「OK」をクリックし、システムを再起動します。
I08.	再起動後、CD-ROM を取り出します。

J. アプリケーションの導入

必要なもの： Software Selections CD

以下、必要に応じて、*Software Selections* CD に収録されているアプリケーションを導入してください。

ステップ	操作内容
J01.	Software Selections CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
J02.	CD が認識されると、Software Selections ユーティリティが起動します。表示された一覧の中から、導入するアプリケーションの左側のチェック・ボックス (□) にチェック・マーク (√) を付け、「インストール」ボタンをクリックします。
J03.	チェック・マーク (√) が付いていたアプリケーション名が表示されるので「OK」をクリックします。
J04.	後は、画面の指示に従ってください。

さらにシステムに応じて必要なデバイス・ドライバーは、Software Selections CD から直接、あるいはディスクットを作成してから導入してください。プログラム・ディスクットを作成することができるソフトウェアは、Software Selections CD 始動後、「拡張機能」->「ディスクット・イメージの作成」の順に選択すると表示されます。

付録B. プログラムのご使用条件の表示

「IBM プログラムのご使用条件 (保証適用外プログラム用)」は、初期導入済みソフトウェアの Access IBM で見ることができます。プログラムのご使用条件を参照するには、次のことを行ってください。

1. Windows 「スタート」ボタンをクリックする。
2. **Access IBM** までスクロールし、クリックする。
3. **Access IBM** で、「ライセンス情報と保証の表示」をクリックする。
4. 「ライセンス情報の表示」をクリックする。

Access IBM をハード・ディスクから削除している場合、IBM *Software Selections* CD に入っているライセンス情報を表示するには、Software Selections プログラムで「ライセンス情報」をクリックします。IBM *Software Selections* CD について詳しくは、3-1ページの第3章、『Software Selections CD の使用法』を参照してください。

付録C. 特記事項および商標

この付録には、IBM 製品の可用性、特許、および出願中の特許のほか、商標情報の法的な特記事項が記載されています。

特記事項

本書において、日本では発表されていないIBM製品（機械およびプログラム）、プログラミングまたはサービスについて言及または説明する場合があります。しかし、このことは、弊社がこのようなIBM製品、プログラミングまたはサービスを、日本で発表する意図があることを必ずしも示すものではありません。本書で、IBMライセンス・プログラムまたは他のIBM製品に言及している部分があっても、このことは当該プログラムまたは製品のみが使用可能であることを意味するものではありません。これらのプログラムまたは製品に代えて、IBMの知的所有権を侵害することのない機能的に同等な他社のプログラム、製品またはサービスを使用することができます。ただし、IBMによって明示的に指定されたものを除き、これらのプログラムまたは製品に関連する稼働の評価および検証はお客様の責任で行っていただきます。

IBMおよび他社は、本書で説明する主題に関する特許権（特許出願を含む）商標権、または著作権を所有している場合があります。本書は、これらの特許権、商標権、および著作権について、本書で明示されている場合を除き、実施権、使用权等を許諾することを意味するものではありません。実施権、使用权等の許諾については、下記の宛先に、書面にてご照会ください。

〒106-0032 東京都港区六本木3丁目2-31

AP事業所

IBM World Trade Asia Corporation

Intellectual Property Law & Licensing

本書で紹介している IBM 以外の Web サイト・アドレスは、お客様の便宜のために記載しており、IBM がこれらのサイトを推奨することを意味するものではありません。IBM は、本書で紹介する IBM 以外の Web サイトまたは IBM Web サイトのリンクを通じてアクセスする他の Web サイトの内容または使用に関して一切責任を負いません。

商標

次の用語は、米国およびその他の国における IBM 社の商標です。

PC 300

HelpCenter

IBM

Microsoft、Windows、および Windows NT は、Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

Lotus SmartSuite は、米国およびその他の国における Lotus Development Corporation の商標です。

他の会社名、製品名、サービス名は、他社の商標またはサービス・マークである場合があります。



Printed in Japan

1999年8月

日本アイビーエム株式会社
〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12



SA88-7019-00